

令和6年度 愛南町立緑小学校

中間学校評価書

令和6年10月

令和6年度 中間期自己評価書  
 【評価基準】 A：目標を達成 B：8割以上達成 C：6割以上達成 D：6割未満  
 愛南町立緑小学校

※末尾についている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	○番号：評価項目 目録値（期待される結果）	評価	◇考察 ◆改善方策	評価資料	達成率 4-3	アンケート結果(%) 4 3 2 1
確かな学力の定着と向上（しっかりと勉強）	①【学校】児童は、授業の内容がよく分かっているか。 目標値：児童と教職員の肯定率が90%以上	A	◇児童の肯定率は100%であり、ほとんどの児童が学習内容を理解し、授業に満足していると思われる。また、教職員も肯定率100%であり、授業改善に取り組んでいることがうかがわれる。 ◆学習内容の定着には個人差があるため、学習用端末の活用や予習・復習を通して、個に応じた支援を工夫していく。	児童1 A 100 80 20 0 0 教職員 A 100 25 75 0 0 100.0 - 満点 国語、算数の 単元テスト平均 今期(前期) 87.8 86.1		
	②【学校】ICTを効果的に使って学習をしているか。 目標値：児童と教職員の肯定率が90%以上	A	◇児童は、学習用端末を使って、楽しく学習していると思われる。教職員も学習用端末の活用について、工夫しており、おおむね満足していることがうかがわれる。 ◆児童も教職員も、学習用端末の活用について個人差がある。研修等を通して、更にスキルアップを目指していく。	児童2 A 100 73 27 0 0 児童3 A 83 86 7 7 0 教職員 1-2 A 100 50 50 0 0 87.7 - 満点		
	③【学校】児童は、家庭学習の習慣が身に付いているか。 低：1日45分以上 中：1日60分以上 高：1日90分以上 目標値：児童・教職員・保護者の肯定率が90%以上	B	◇低・中・高学年それぞれの目標時間に達していないと感じている人が多い。なかでも、保護者の肯定率が一番低い。宿題以外の自主学習に取り組む姿を見ることがあまりないのではないかと考えられる。 ◆家庭学習時間調査を行い、どの学習にどれだけの時間をかけているか、実態把握をする。その結果を基に家庭学習の取り組み方について支援していく。また、目標時間の設定も検討する。	児童4 B 87 40 47 13 0 保護者 2 B 83 0 83 17 0 保護者 7 C 73 33 40 7 20 81.0 - 満点		
	④【学校】児童は、読書の習慣が身に付いているか。 低：月10冊以上 中：月8冊以上 高：月5冊以上 目標値：多読賞達成率、児童や教職員の肯定率の平均が90%以上	B	◇今年度は、毎朝10分間、読書の時間を確保することにより、読書の習慣が身に付いてきたと思われる。また、毎週金曜日は必ず本を借りたり、毎月図書委員がおすすめの本を紹介したりすることで、本に親しむ児童が増えてきたと考えられる。さらに読んだ本を必ずみきゃん通帳に登録することで、何冊読んだかを把握することができた。しかし、中には読書がきらいと感じている児童もいる。 ◆2学期は読書集会を行ったり、すてきな本に出会った児童を紹介したりして、読書がきらいな児童も本に興味を持てるような手立てを工夫していく。	多読賞達成率 80 % 児童5 B 86 53 33 7 7 教職員 3 A 100 14 86 0 0 88.7 - 満点 (多読賞達成率)左の各学年の目標冊数をクリアした児童の割合。図書の出冊数と「みきゃん通帳」に記録している冊数から調査した。		
自由意見	●本読みをさせて頂いています。真剣な眼差ししっかりした姿勢で聞き、感想も一人一人の思いを十分に伝えてもらっています。私も皆さんの心により深く届くよう努力します。これからも宜しくお願い致します。 ●分かる授業づくり、ICTの活用に努めているが、学力の個人差が大きいため、個別最適な学びのため、更なる工夫が必要だと感じている。			○保護者 ●地域 ●教職員		
学校運営協議	①学習がよく分かるという子どもが多いのはよい。実際に分かっているかという疑問だが・・・→客観的なテスト等も参考にしながら、確かな学力が身に付くようにしていきたい。 ②今のICTを使っている学習にはついていけない。今の時代の学習を頑張してほしい。→授業で効果的に学習用端末を使うことはもちろん、学力を向上させるための活用方法について、教職員全員で研修を積み重ねていく。 ③緑塾に来ている低学年は、ほぼ45分間学習ができていると思う。 ④家庭学習は宿題だけという感覚の子どもが多いのではないかと。宿題を多く出してもらおうというのでは。予習・復習ができるとうい。→家庭学習調査をして実態を把握する。その実態に応じて支援の仕方を検討したい。 ④読書が好きではない子どもがいるが、文章問題になると必要となると思うので、習慣付くとよい。→読書がきらいな児童も本に興味を持てるような手立てを工夫していく。					

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果(人)					学校アンケート内容	
4	3	2	1			
12	3	0	0	授業はよく分かりますか。		
2	6	0	0	1人1台端末の活用、協働的な学び、予習と授業との連動などが行えていますか。		
11	4	0	0	コンピュータを使った学習は楽しいですか。		
13	1	1	0	コンピュータを1日に2回以上使っていますか。		
4	4	0	0	1人1台端末の効果的な活用をしているか。		
6	7	2	0	毎日、家(+緑子ども塾・学習塾)で目標学習時間(45・60・90分間)勉強をしていますか。		
0	5	1	0	子ども達は、低・中・高学年に応じた目標学習時間(45・60・90分間)、学習に取り組んでいるか。		
5	6	1	3	お子様は、低・中・高学年に応じた目標学習時間(45・60・90分間)、学習に取り組んでいますか。		
8	5	1	1	読書は好きですか。		
1	6	0	0	(図書館利用の促進、みかん通帳の活用、読み聞かせ、読書集会など)により、子ども達は読書習慣が身に付いていると思うか。		

※末尾に付いている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点目標	評価項目 目標値(期待される結果)	評価	考察 ◆ 改善策	評価資料	評価 資料	達成率 4-3-2-1	アンケート結果(%)	
豊かな心を育てる教育の推進	⑤【学校】児童は、楽しく学校生活を送っているか。 目標値：児童・保護者の100%が肯定	B	◇児童・保護者の肯定率は89%と概ね良好であった。しかし、楽しく学校生活を送っていると思わないと回答した児童が1名、保護者が2名いた。児童については、その原因を把握しているが、保護者については不明である。 ◆日々の児童の様子を見取り、学校生活アンケート及び教育相談を今後も丁寧に行うことで、児童が抱えている問題や困り感の早期発見・早期解決に努める。また、学校だよりやHP等を用いて、学校の取組や現状について周知する。	児童9 保護者2 89.0	A B —	100 80 —	60 13 7 0 0 13 0	
	⑥【地域】児童は、気持ちのよい挨拶ができていますか。 目標値：児童・保護者・地域・教職員の90%が肯定	B	◇全体の肯定率は約90%で概ね良好である。しかし、児童・保護者・地域・教職員全てで、若干名の否定的な回答があることから、挨拶において更に効果的な指導や取組を要することが分かった。 ◆朝の会・帰りの会、学級活動、道徳科等、あらゆる場で挨拶についての指導頻度を高める。また、全校話し合い等の機会を活用して、児童が主体的に挨拶の意義を理解したりより良い挨拶をするための改善方法について考えたりする場を設ける。	児童9 保護者2 地域1 教職員6	A B —	93 87 82 88	53 40 54 25 40 13 0 8 0	
	⑦【教職員】教職員が児童を深く理解しているか。 目標値：児童、教職員、保護者の90%が肯定	A	◇すべてのアンケート内容で100%の肯定率で、良好な結果であった。今年度は、教育相談を全ての児童に対して毎月行うことで、一人一人とじっくり話し学級担任以外の教職員全員も児童理解を深めることができた。 ◆緑っ子レターを活用し、自他ともに認め合える関係づくりを更に進める。毎月の教育相談や児童を見つめる会等で児童に関する情報共有、指導の共通理解を図る。様々な場面で、児童の努力や長所を認め、自尊感情や自己有用感を伸ばす言葉掛けをしていく。	保護者11 教職員4 100.0	A A —	100 100 100	60 40 0 0 0 0 0	
	⑧【教職員】道徳科を中心に教育活動を通じて児童の人権に関する考えを深めたり広げたりしているか。 目標値：児童と教職員の肯定率が90%	B	◇児童・教職員共にB評価で、9割を切っているが、教職員よりも児童の方がA評価が多く、自分も含めて多様な考えに触れて話し合えてきていると感じていると思われる。考えを共有しやすい学習用端末の活用で、話し合う時間の確保が進んだためもあると思われる。 ◆子どもたちが、議論し合い、考えを更に深めることができるよう、道徳科の授業構成・展開等の実践・研究を進めていく。	児童8 教職員9 86.4	B B —	86 86	73 43 43 13 0 14 0	
	⑨【地域】児童は、人を大切にすることが育っているか。 目標値：児童・保護者の90%が肯定	A	◇毎月いじめストップ8条の憲法についてしっかりと振り返ったり、緑っ子レターでお互いのいいところを伝え合うことにより、あつたか言葉を使っていると感じる児童が増えたと思われる。しかし、児童、保護者ともに1名ずつ人を大切にできていないという回答があった。 ◆学校教育の様々な場面で、相手の気持ちを考えて言葉を使うことの大切さを全教職員が伝えていくとともに、優しい言動が見られたらすぐに認め、ほめるようにする。	児童7 保護者4 地域1 教職員10	A A —	93 94 100 95.3	60 47 38 64 0 0 0	
	⑩【学校】主体的な行動やたくましさが増えているか。 目標値：児童・教職員の90%が肯定	A	◇学校行事や集会等で、児童がやることを決め、主体的に活動できる経験を重ねることで、自分から行動していると感じる児童が増えてきたと思われる。また、モーニングランや放課後の水泳練習等で努力を積み重ね、自分の成長を感じることにより、達成感を味わえていると考えられる。 ◆今後も児童が自分で決め、主体的に活動できる経験、努力を積み重ね目標を達成する経験を多くさせることで、更に主体的な行動やたくましさが増える。	児童10 教職員7 91.0	B B —	86 88	33 63 25 13 0 0	
	⑪【教職員】個々の児童の特性や困難さに応じて指導しているか。 目標値：児童、教職員、保護者の肯定率が全て90%が肯定	A	◇すべてのアンケート内容が100%の肯定率で、良好な結果であった。毎月の児童を見つめる会だけでなく、今年度は職員朝礼を週に2回実施し、その都度気になる児童について情報共有に努めた結果ではないかと考える。 ◆本校は少人数のため、目が行き届きやすい環境にあるが、更に個々の特性に対する理解を深め、適切な支援を目指す。	保護者11 教職員4 100.0	A A —	100 100	60 40 0 0 0	
	自由意見	<p>○毎日楽しそうにしているので、とても嬉しく思います。マイペースな子なので、何かと大変な所も多い中、先生方が上手にフォローしていただいているので楽しく過ごせているのではないかと考えています。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。</p> <p>●「おはようございます。」明るく元気な挨拶で一日が始まります。毎朝子どもたちと会えることで「今日も一日頑張るぞ。」という気持ちにさせてもらっています。ありがとうございます。</p> <p>●朝登校に同行させていただいています。毎朝校門付近で校長先生・教頭先生に笑顔で迎えていただき、校舎に入れば先生方が待ってくださっている状況で、子どもたちの一日がスタートしています。また、天候等に応じて各先生方に登校を見守っていただくなど、温かい心遣いを感じております。お忙しい中、ありがとうございます。</p> <p>●全体的には気持ちの良い挨拶ができています。ただ、一部の児童は声をかけても素通りしたり、小さな声で挨拶したりするという地域の声も聞かれました。</p> <p>●私が小学生だったときより積極的に自分の考えや感情を発信できる子が増えているように感じます。特に、低学年の子が子ども塾の際に言い合っているのを見かけますが、大きな喧嘩になることもなく、また、一方的な形でもないの私は好ましく思います。上級生から下級生への圧力がないことも素晴らしいと思います。そうやって伸び伸び過ごす一方で○○先生が言っていたから。と締めるところを締める意欲も持っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の主体的な行動が増えた。</li> <li>・全員が元気に登校している。</li> <li>・児童の特性に合わせて「やっこごらん」「よかったね」等の声掛けをすることができた。</li> <li>・しんどいことから逃がしている。粘り強さに欠ける児童が多い。</li> <li>・あいさつ、返事がしっかりできない児童がいる。</li> </ul>						
	協議運営	<p>⑤保護者の方の2判定が2名いるのが課題。→アンケートは無記名のため、個人の特定はできない。日頃の家庭との連絡や個人懇談等で保護者の不安や困り感を把握し、支援する方法を考えたい。⑥あいさつができていない児童もいるが、できる子の刺激を受けながら伸ばしていくとよい。スポ少との連携もしていくとよい。→学校での指導を増やすとともに、スポ少等地域とも連携してあいさつが自然にできるようにしたい。⑧少人数では、いろんな意見を聞くことが難しい。城辺小との交流学習をしたり、無理なくオンラインの活用をしたりして、多様な意見に触れる機会を増やすとよい。→城辺小との交流を継続する。オンラインの活用も有効に活用して、多様な意見に触れる機会にしたい。⑨緑っ子レターは、書いたりいじめストップ8条の憲法を確認したりして、人を大切にすることがよく育っている。⑩子どもたちの意見を尊重してくださっている場面が増え、主体的に活動することができている。全員が放課後の水泳練習や陸上練習等をして体力をつけられる線ならはの環境がいい。</p>						

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果(人)					学校アンケート内容				
4	3	2	1	0					
12	2	1	0	0	学校は楽しいですか。				
12	1	2	0	0	お子さんは、楽しく学校生活を送っていると思いますか。				
8	6	1	0	0	相手が笑顔になるような気持ちのよい挨拶や返事ができましたか。				
6	7	2	0	0	お子さんは、気持ちのよい挨拶や返事ができていますか。				
7	5	0	1	0	児童は地域の人たちに気持ちのよい挨拶や返事ができていると思いますか。				
2	5	1	0	0	児童は、明るい挨拶や返事をしているか。				
9	6	0	0	0	学校は、児童について深く理解しようとしていると思いますか。				
7	1	0	0	0	あつたか言葉の推進や緑っ子いじめSTOP8条の憲法の実践の徹底をしているか。また、いじめを多面的・多角的に理解し認知しようとした。				
4	4	0	0	0	感謝の言葉の大切さを伝えるとともに、緑っ子レターなどで自他を認める機会をしっかりとつきましたか。				
11	2	2	0	0	道徳の授業で、いろいろな感じ方や考え方で話し合いましたか。				
3	3	1	0	0	道徳科を中心に多様な感じ方・考え方・価値観の尊重、対話的な学びづくりなど議論する活動に努めているか。				
9	5	0	1	0	あつたか言葉を使って、友達と仲良くしていますか。				
7	7	1	0	0	お子さんは、人を大切にすることが育っていると思いますか。				
4	7	0	0	0	児童は、人を大切にすることが育っていると思いますか。				
5	8	1	1	0	自分で考え、自分で決めて、自分から進んで行動していますか。				
5	2	1	0	0	主体的な行動選択ができる工夫や児童の言動を要める教育に努めたか。				
10	5	0	0	0	難しいことやしんどいことも、あきらめずがんばることができましたか。				
9	6	0	0	0	学校は、お子さんの特性や困難さに寄り添った指導をしていると思いますか。				
4	4	0	0	0	特性の理解、困り感の解消方法の提示など、合理的配慮の提供をしているか。				

○保護者  
●地域  
●教職員

※末尾についている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

重点 目標	○番号：評価項目 目標値（期待される結果）	評価	◇ 考察 ◆ 改善方策	評価 資料	健康 観察 状況	アンケート結果 (%)
(つよ いから だ) 健康 教育 の 推 進	⑫【学校】児童は、運動に親しんでいるか。 目標値：児童・教職員の90%が肯定	A	◇児童・教職員総合で95%を超える肯定率を得た。朝マラソンやえひめITスタジアムへの参加、また、放課後の水泳練習等、児童が運動に親しみながら体力・技能の向上を実感できる場を設定し実践したことは効果的だったと考えられる。しかし、否定的な回答をした児童が1名いたことから、今後の取組に更なる改善が求められる。 ◆2学期以降朝マラソンやITスタジアムへの参加を継続する。加えて、1学期に実施した体カテストの結果を基に「体カアップ推進計画」を策定し、児童一人一人が自分の目標を明確にして運動に親しむことができるようにする。	児童14 保護者14 80.0	A B C	93 73 20 0 7 100 75 25 0 0
	⑬【家庭】児童は「早寝・早起き」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の90%が肯定	B	◇児童の自己評価と保護者との認識の違いがある。1学期の健康観察の結果から、半数の児童が21時までには就寝している。しかし、22時以降に就寝している児童もあり、遅い時間までゲームやインターネットを利用している児童もあり、翌日の授業にも影響が出ているため、ITメディアの使用について理解を深める必要がある。遅く寝ている児童は、登校間に間に合わず、遅れて登校して来る児童もいる。 ◆基本的な生活習慣を確立させるためには、家庭との協力が必要である。一人ひとり家庭環境が異なるため、保護者と連携を図りながら、個別指導を行っていききたい。また、集会や保健だよりを通じて生活リズムを整えるための啓発活動を行っていききたい。	児童13 保護者13 80.1	B C	88 73 20 53 13 13
	⑭【家庭】児童は「朝ごはん」の習慣が身に付いているか。 目標値：児童・保護者の90%が肯定	B	◇アンケートで朝ごはんを食べる習慣が身に付いていると答えた児童が100%、保護者は80%となっている。しかし毎日行っている健康観察等では、夜更かしや朝寝坊等により朝食をしっかりと食べていないという児童もいた。朝食摂取率には、早寝・早起きの習慣も関係している。 ◆朝食を摂取している児童の中には、菓子パンのみなど朝食内容に偏りがある児童もいる。朝食調べを実施し実態把握を行いたい。内容に関しては、保護者の負担にならないよう検討したい。朝食摂取の重要性や朝食に関する栄養面についても、授業や集会等で指導の機会を増やしていきたい。	児童13 保護者13 80.0	A B	100 80 60 40 0 0 73 7 20 0

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容	
4	3	2	1			
11	3	0	1		体育の授業、放課後の運動・モーニングラン、外遊びなど、運動をがんばっていますか。	
6	2	0	0		全校遊び、体力づくりえひめITスタジアムの活用などで運動の習慣を身に付ける。	

5	8	1	1		早寝・早起きは できていますか。	
3	8	2	2		お子さんは、早寝・早起きの習慣が身に付いていると思いますか。	

9	6	0	0		朝ごはんは 食べていますか。	
11	1	3	0		お子さんは、朝ごはんを食べる習慣が身に付いていると思いますか。	

自由 意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ モーニングランに意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・ 粘り強く運動に取り組む児童が増えた。</li> </ul>		○保護者 ●地域 ・教職員
学校 運営 協議 会	⑫運動に親しめていない児童が1名いる。週に1度でも全校で集まって遊ぶ等、運動の機会を増やせば良いのではないかと。→運動が楽しく感じることができるよう、目標を持ち、達成感を味わえるような工夫をしたい。 ⑬⑭家庭によって認識が様々であり、早寝・早起きを徹底するのが難しい状況にあると思われる。同じく朝ごはんも習慣化していくのではないかと。家庭での話し合いが必要。→各家庭での就寝・起床時間の把握をして無理のない改善方法を検討したい。また、家庭への啓発活動も行い、基本的な生活習慣の大切さを理解してもらいたい。		

※末尾についている番号は、アンケート用紙中の質問番号です。↓

※回収分のみとなっております。また、教職員の項目には、職種により回答できないものがあります。

重点目標	評価	◇ 考察 ◆ 改善方策	評価資料	アンケート結果 (%)					
				割合	評定平均	4	3	2	1
その他	A	⑮【地域・学校】地域との交流・体験活動等は地域を愛する心を育てているか。 目標値：児童・保護者・地域・教職員の90%が肯定	児童15	A	100	73	27	0	0
			保護者12	B	80	47	33	20	0
			地域住民14	A	92	50	42	8	0
			教職員11	A	100	50	50	0	0
				93.0 一 改善					
その他	A	⑯【教職員】研修や自己研鑽に努めているか。 目標値：教職員の90%が肯定	教職員14	A	100	25	75	0	0
				100.0 一 改善					
その他	A	⑰【家庭・地域・学校】学校は、ホームページや学校だより、学級通信等で情報の共有に努めているか。 目標値：保護者・地域・教職員の90%が肯定	保護者16	A	100	73	27	0	0
			地域住民14	A	100	92	8	0	0
			教職員11	A	100	62	38	0	0
				100.0 一 改善					
その他	A	⑱【学校】学校は、衛生的で落ち着きのある場所であるか。 目標値：児童・保護者・地域・教職員の90%が肯定	児童16	A	93	73	20	7	0
			保護者16	A	93	53	40	7	0
			地域住民14	A	100	92	8	0	0
			教職員12	A	100	38	62	0	0
				98.5 一 改善					

アンケート結果 (人)					学校アンケート内容
4	3	2	1		
11	4	0	0		地域の方に教わったりいっしょに活動したりする学習は楽しいか。
7	5	3	0		お子さんは、「緑地域を愛する心」が育っていると思うか。
6	5	1	0		児童は、「緑地域を愛する心」が育っていると思うか。
4	4	0	0		ふるさと学習、地域との交流、地域貢献など、地域を愛する心は育っているか。

2	6	0	0		自主研修、新しい教育への学び、読書など、研修や自己研鑽に努めたか。

11	4	0	0		学校は、学級だよりやホームページによる情報の共有に努めていると思いませんか。
12	1	0	0		学校は、ホームページや学校だよりによる情報の共有に努めていると思いませんか。
5	3	0	0		通信やHPでの情報発信、保護者・地域住民・外来者・電話への対応など、保護者・地域住民との信頼関係づくりに努めたか。

11	3	1	0		学校は、きれいで、落ち着きのある場所か。
8	6	1	0		学校は、衛生的で、落ち着きのある教育環境が保たれていると思うか。
12	1	0	0		学校は、衛生的で、落ち着きのある教育環境が保たれていると思うか。
3	5	0	0		衛生的で落ち着きのある学校づくりができたか。

自由意見	○ホームページを楽しく見せていただいています。 ●校長先生のお姿、そしてあの笑顔本当に素晴らしい。私も笑顔を頂いております。校長先生のように心からの笑顔になりますように。教頭先生、毎朝の掃除大変だと思います。ありがとうございます。 ●特色のある学校づくり、緑小の特色は何だろうと考えたら、やはり里山を中心とした自然環境を生かした体験学習と地域の人々の支えだと思います。地域の一人として何でも協力しますので、ぜひ緑らしい愛南町らしい学校づくり頑張ってください。 ●田植えなどの行事を通して地域の方とつながりをもつこともでき、良いと思います。入学式に地域の方々の出席が多いのも緑ならではと感じました。ホームページでは、日頃の様子や取組がよく伝わるので、楽しみに見せていただいています。 ●各教室、図書室、運動場など、児童が日々活動している場所の教育環境はきちんと整備されていると思います。ただ、日頃児童が使わない場所でも学校が管理しなくてはならない場所は定期的に状況を把握し、環境整備に努めてほしいと思います。地域から心配する声も少し聞こえてきます。 ●学校は、一生懸命情報発信に努められていると思います。しかし、それがきちんと一般の地域住民に届いているかは疑問です。従来の方法だけでなく、どうすれば学校の思いや願いを正しく伝え、協力していただく人を増やすことができるか工夫していくことが大切だと思います。 ●あまり地域の方たちとの関わりがないため、児童と地域とのふれあえるイベントなどを行うのもいいのかなと思います。 ・ 地域の人との関わりを多く持つことができた。	<input type="checkbox"/> 保護者 <input checked="" type="checkbox"/> 地域 <input type="checkbox"/> 教職員
------	--	--

学校運営協議	⑮地域との交流は多いと思う。「緑地域を愛する心」は、このまま交流していくと育てて来ると思う。→地域との交流活動を継続していく。緑地域の良さを伝えられるようにしたい。 ⑰学校だより、ホームページなど、高齢者が多く、見る人が少ないのではないかと。学校だよりは、回覧で全家庭で見られるが、十分に目を通さずに次の家に渡っているのが現状ではないか。→以前は全戸に学校だよりを配布していたようだが、現在は様々な理由により難しい。運動会等たくさんの地域の方に参加していただきたい行事については、公民館とも連携して伝えられるようにしたい。 ⑱衛生管理はおおむねできていると思う。
--------	---



か。